

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2013年6月号 はじめまして！これから宜しくお願いします！



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「感謝してもしきれないYMCA」

大阪YMCAリーダーOB 佐道 大倫（トーマスリーダー）

大阪YMCAで12年間キャンプメンバーとして、野外リーダーとしての4年、リーダーOBとしては4年間わり、その中で数多くの経験を通して、数多くの学びと気づきを得て、多くの仲間と出会い、そして、妻とも出会ったYMCAには、感謝してもしきれません。

私がYMCAに対して最も感謝している事は、私に何事も積極的に関わる事の喜びを教えてくださいました。中学生まで、私は本当に目を見て話せないほど、人見知りでしたが、キャンプリーダーや仲間のお陰で、積極的に関わる事の喜びを知り、関わり合う事、人前に立つ事への抵抗感が薄れ、次第に喜びへ変わってゆきました。

リーダー時代、私自身も子供達に対して同じようなキッカケ作りが出来ればと考えながら、チームで例会やキャンプの企画運営する中で、コミュニケーション力、企画力を身に付けるキッカケとなり、社会に出る前の準備運動になりました。また、子供達に対しては、プログラムを通して、生きる力を育むキッカケ作りをする中で、教育は社会を創り、教育で社会を変える可能性がある事を、子どもたちの成長という結果を通して強く感じる事が出来ました。

社会人になってからも、数多くの学びと気づきの機会を持つ事が出来ました。11年夏以来関わらせて頂いている、宮古VCでの活動では、コ

ミュニティ・人の繋がりから生まれるエネルギーの可能性を学びました。例えば、仮設住宅でもベンチに腰を掛けて何気ない話をしながら自然に笑顔になっている皆さんや、イベントで笑顔になる皆さんを見る機会が数限りなくありました。被災地に限らず、昔は、街の祭り、井戸端会議、夕涼み等で、様々な「人と人が関わり合う場」があり、それらには「人と人が関わり合うこと」で生まれる楽しさがあったと思います。昔の日本の姿、宮古での経験を振り返ると、コミュニティ・人の繋がりは人、そして街を元気にする力があると強く感じる機会となりました。この経験は建築専攻の私の人生に大きな影響を与えました。

YMCAは、関わる者全てに学びと気づきを与え続けていると今までの経験を経て、強く感じています。また、私がYMCAで一歩踏み出したように、誰かの一歩を踏み出すキッカケをYMCAが生み出し続けて欲しいと願っています。

私は、これからもYMCAと関わり続ける中で、日々更新される学びと気づきに、YMCAに対しての感謝は尽きる事が無いでしょう。いつか力を付けて恩返し出来るように精進してゆきたいと思います。

☆今年度からお世話になっております！新スタッフ紹介☆

現在、盛岡YMCAは本町・前潟・向中野の3センターを軸に活動を行っており、以前に比べ徐々に活動事業の種類も増えてきています。その活動1つ1つの質を上げ、より多くの方のニーズに応えるために、この4月より盛岡YMCAには3名の新しいスタッフが仲間入りしました！これで盛岡YMCAのスタッフは総勢9名となり、これからの盛岡YMCAの発展を目指し、支えていきたいと思っています。

これまでのスタッフの中にも非常に強いキャラクターの持ち主はいましたが、今回仲間入りした新スタッフたちもなかなかの強者たちです！それぞれの個性を活かし、盛岡YMCAをどんどん盛り上げていってほしいと思います！！

これより、期待の新スタッフたちをドドーンと紹介致します☆

向中野センター所属

かわむかい ゆうすけ

川向 雄介

はじめまして、川向 雄介です。今年度から盛岡YMCAのスタッフとしてお世話になります。リーダー名はと言いますと、「ポテト」と呼ばれております。

好きなものはサッカー。Jリーグが開幕したと同時にサッカーを始め、サッカー歴は今年で20年目になります。休日でも専らサッカーやフットサルをして過ごしています。サッカーをこよなく愛す26歳です！

こう見えても苦手なものは肉。私は魚で育ちました！かろうじてハンバーグは食べられます。

盛岡YMCAでは向中野センターに所属し、主に向中野学童、盛南サッカー、本宮サッカー、水泳を担当しております。

子どもたちと元気に一生懸命関わり、本気で向かい合っていきたいと考えています。よろしく願います。



前潟センター所属

ひがしもり さとし

東森 聡

はじめまして(!?)「タモリ」こと東森 聡です。昨年、一昨年と本町ぶらいむで遊びたおし、今年度から前潟ぶらいむでスタッフとして遊びたおす事となりました。

盛岡で生まれ育ち、今じゃ中学生の娘を持つ42歳のお父さんです。

車や自転車いじりを好み、広く浅く多趣味な私ですが、中学生から始めたサッカーが一番大好き！好きなプレイヤーはマラドーナ率いるアルゼンチンをあと一步のところまで追いつめた西ドイツ代表の「カールハイツ・ルムメニゲ」。あのゲルマン魂は心打たれました。それが講じて、今じゃYMCAベストキッズのコーチを任せております。ベストキッズではサッカーを通じて、そしてYMCAに関わるすべての子供達のココロを育てる為、スタッフとして



日々精進していきますのでこれからもよろしく願います！素敵な40代を過ごしたいといつも星空を眺め、そして誓う東森でした。

本町センター所属

きみづか あや

君塚 彩

はじめまして。今年度からスタッフとして盛岡YMCAの一員となりました、君塚 彩と申します。「ぼりちゃん」と呼ばれております。今年春に岩手大学を卒業した盛岡YMCA最年少スタッフです！

好きなものは音楽、お菓子、アルコールです。ニックネームの由来も好きなものの中の1つに関係してくるのですが、諸般の事情により内緒です。特技はフルート♪学生時代のアルバイトではフルートの美しい音色で新郎新婦を送りだしてました✿

普段は盛岡YMCA本町センターにおり、事務全般を担当しております。情報発信のお手伝いが出来ればと思い、ホームページやfacebookなどといったウェブ上のコンテンツも少しずつ動



かし始めました。日々更新していますので、ぜひご覧になってください！これから、オープンな盛岡YMCAを目指し、頑張っていきたいと思えます！宜しくお願いします。

☆ リーダー紹介☆ その⑩

久しぶりにリーダー紹介復活！！このリーダーのことは皆さんご存じですかぁ？

こんにちは！今回は、私、つぶ貝こと盛岡大学2年の小野寺 百恵（おのでもえ）がYMCAリーダー「とうふ」を紹介致します！

とうふリーダーとは、盛岡短期大学2年に在学しているピチピチの19歳☆種市 祥子（たねいち しょうこ）です。YMCAの活動では、ジャージがメインのとうふリーダーも大学では一変！！ヒラヒラスカートやキラキラおめめ、そんな美女、とうふを見たい方はぜひ盛岡大学へ来てみてください。お待ちしております\(^o^)/

さてさて、とうふリーダーは、一体何者なのだ！！？という本題へ入ります。とうふリーダーあれこれそのI：とうふリーダーは、誰もが認めるド天然リーダー！！時と場合によっては、小悪魔系リーダーにもなっています。(笑)でも、とうふリーダーの言動に悪気はありません、ここポイントです。ただ、ちょっと天然なのです。かわいいですねえ。なかなか、面白いところをついてくるので、どんどん話しかけてみてください！

とうふリーダーあれこれそのII：とうふリーダーは、実は人懐っこい！！？一見、ちょっと恐そうに見えるとうふリーダーですが、話してみると全く恐くないのです！！後輩には、特に優しい一面もあります。楽しいことが大好きなとうふリーダーはどんな話題でもオールマイティーに話せるリーダーですので気軽に話しかけてみてください。話しかけるだけではもの足りないっ！という方は、ご飯や遊びに誘ってみるのもあります。そんな誘いも快くのってくれるはずですよ。

最後になりましたが、とうふリーダーは短大でのハードスケジュールと両立してYMCAの活動も頑張っています。皆さん！そんな、とうふリーダーの応援をこれからもよろしく願います！！

以上、つぶ貝でしたっ！

盛岡大学児童教育学科2年 小野寺 百恵(つぶ貝リーダー)



「とうふ」とは私のことです！



わたしがとうふを紹介しちゃうぞー!!

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 5月報告書

《故郷を愛し、大切に思う。宮古を愛する子どもたちが育ってほしい!》

宮古ボランティアセンターの子どもたちのクラスのテーマです。昨年からはまったアドベンチャークラブが5月より新年度を迎え、宮古小学校でのサッカークラスが新設、ほかにも夏に新しい子どもたちのクラスを準備中です。また多くの高校生のボランティアも参加してくれるようになりました。宮古の若者が地元のために汗を流し、ともに成長する姿は、宮古の将来にとって大きな宝ではないでしょうか。

5月18日(土)にアドベンチャークラブは区界高原まで故郷の川、閉伊川の源流を捜しに探検に行きました。いつも目にしない大きな蟻、ツキノワグマのマーキング痕跡、そしてあの大きな川のしみ出る源流。刺激的なものばかりで、好奇心をくすぐるものばかりでした。探検の後、地元の方が50cmほどのサクラマスを目の前でさばいてくださいました。

持ち上げて重さを実感したり、さばきながらこれが心臓、これが卵(卵巣)、胃の中のものから、何を食べていたかな…と、まな板の周りを取り囲み、興味深々でした。見る間に「塩焼き」「あら汁」となり貴重な故郷の魚を見て、触って、食べて感じました。実体験の大切さは言うまでもありませんが、きっと心に残ったことと思います。子どもたちに故郷の素晴らしさを受け継がれ、いつまでも守り育ててほしいです。

宮古ボランティアセンター長 木田



↑ 源流にて：
探検隊長！源流を発見しました!!



↑ 水って地面から出てくるんだ・・・



↑ 「うまい！」 新鮮なサクラマスの塩焼きとあら汁。もちろん完食です!

☆ 宮古での活動実績
☆ 受益者数
☆ ボランティア数

(3月末日のべ人数)
56, 885人
18, 548人

→ 大きなアリ発見！
「こいつけっこう速いぞ!!」



→ 目の前で大きなサクラマス！
初めて見た!!



宮古ボランティアセンター 新センター長 ごあいさつ

2012年2月、宮古の地での活動を始めさせていただき、一年が経ちました。多くのすてきな出逢いがあり、宮古の方々の温かさにくれた感謝の日々でした。2013年度も引き続き、宮古でお世話になれることとなり、大変喜んでおります。求められる支援活動は日々変化していきます。本当に大切なことをしっかり見極めなければいけません。この一年間の出逢い経験を活かし、宮古のみなさんにお支えいただきながら、充実した活動が行えるよう努力してまいります。

2013年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター
2013年度 センター長 木田泰之



宮古ボランティアセンター 新スタッフ ごあいさつ

こんにちは。仙台YMCAより参りました、斎藤 勉(さいとう つとむ)と申します。昨年11月から何度か宮古の地に足を運び、多くの方々とお会いする機会を頂きました。今度は2年間、宮古での仕事となりますが、より多くの皆さんとの関わりをもつ中で、微力ながら力になることが出来ればと思っております。

あたりまえですが、あいさつを大切に宮古の方たちと寄り添うことが出来るよう頑張っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター
2013年度 ディレクター 斎藤 勉



感謝
2013年年度
順不同・敬称略
●三十周年記念史
賛助会員

- 長岡正彦、竹内一真、水野雄二、田村浩之、伊藤真一郎、岩崎スエ、雲丹谷三千代、今松桂子、森山日菜乃、南原良哉(株)盛岡ユニホーム、盛岡南ドライビングスクール、井上修三、井上優子、宮崎幸雄、濱塚秋二、阿部靖、倉石昇、岩手ヨペット盛岡支店、神谷幸男、水田賢次、諏訪治男、名古屋恒彦、山本常雄、吉崎陽、工藤泰、中原真澄、加藤明宏、伊藤克見、小林茂元、和歌山YMCA、A、北田アユニ、角谷晋次、大関靖二、三田弘子、伊藤洋子、伊藤光、伊藤恵嗣、伊藤雄基、吉田ひろ子、石崎一之、石崎稜、朴正浩、山本英志、花田瞳、千葉代子、佐藤翔、吉本貞一郎
- 東日本大震災被災地支援募金・献品
南原良哉、林間つきみ野教会、味岡薬子、飯靖子
- 維持会費
花田瞳、角谷晋次、角谷千代子、山澤美和、松尾聡子、石崎一之、池田二郎、佐藤翔
- 寄付金
花田瞳、佐藤翔

4月アドベンチャー おたまを捕まえろ!

4月28日(日)は盛岡市の小鹿牧場に行ってきました。今回の参加者は子どもが24名、リーダーが15名。バスや車にギュギュッと乗り込み出発しました。小鹿牧場に到着し、早速「春探し探検」に出発!午前中いっぱい歩きまわると、小鹿牧場にも様々な「春」が見つかりました。最後は見つけてきたものを体で表現し発表です。子どもたちの表現力は個性豊かなものばかりで様々な工夫がみられました。

昼食は丘のてっぺんで食べました。岩手山が良く見えて最高の景色でしたが、ものすごい強風に飛ばされそうになっていました。

午後はまず全員で「陣取りゲーム」をして遊びました。広い丘をすべて使い、壮大な戦いとなりました。また、自由時間ではカエルの卵やおたまじゃくしを捕まえたり、野球をしたり、丘を転がり落ちたりと、思い思いの遊びで楽しい時間を過ごしました。

盛岡YMCA 家村



5月アドベンチャー 野外でクッキング!

5月19日(日)、今回は野外調理に挑戦するという事で都南つどの森キャンプ場に行ってきました。今回は子どもの参加者が31名と、まれにみる30人超え!そしてリーダー・スタッフも24名という大人数で、総勢55名での活動でした!

今回の野外調理では飯ごうでの炊飯に挑戦してもらいました!米を炊くだけでも相当な手間と時間を要します。米をとき、マキを割り、マキに火をつけて、ご飯を炊く。いろいろと作業がある中で、子どもたちはそれぞれの楽しみを見つけて一生懸命に取り組んでいました。どのグループもきれいに炊けていて、飯ごうのふたを開けた瞬間に炊き立てのいい香りが漂っていました。ご飯は親子丼にしてお腹いっぱい美味しく食べました!

午後は広場で水をかけ合ったり、鬼ごっこをしたり、思い切り遊んできました。

盛岡YMCA 家村



6月の予定

★6月7日(金)

YMCAワイズメンズクラブ東日本区大会前夜祭
(於:岩手県花巻市 ホテル千秋閣)

★6月8日(土)~9日(日)

YMCAワイズメンズクラブ東日本区大会
(於:岩手県花巻市 ホテル千秋閣)

★6月9日(日)

サンデースクール「写真たて作り」
(於:ふらいむ・たいむ本町校)

★6月22日(土)~23日(日)

6月アドベンチャー「テントに泊まろう!」
(於:八幡平県民の森)

~休講のお知らせ~

○6月22日(土) 本町サッカースクールお休み

5月アドベンチャーで野外調理に挑戦!飯ごうでの炊飯も大成功☆
(5月19日 つどの森)



表紙の写真より

ともだちいっぱい

特典①

サマーキャンプ割引チケットをプレゼント
新入会員を紹介してくれた現会員(サッカースクール、水泳教室、学童保育)の方にサマーキャンプ3,000円割引チケットをプレゼント致します!!!

特典② 入会金50%OFF

現会員の方からご紹介を受けた新入会員は入会金(6,000円)が半額免除になります!!!

※詳細は盛岡YMCAにお問い合わせください

○盛岡YMCA 問合せ先○

TEL 019-623-1575 / FAX 019-623-1579

こほれ種28 「カルガモ一家の引越しに思うこと」

日本基督教団内丸教会牧師(元日本YMCA同盟 主事) 中原 真澄



今年は見逃してしまったようですが、春の楽しい出来事の一つに、カルガモの引っ越しがあります。東京などでは、カルガモ一家の引っ越しはテレビや新聞で毎年、報道されますが、岩手ではニュースになった記憶がありません。それだけ自然が豊かで、ありふれているからでしょう。ここ盛岡で私が偶々目にしたのは、城跡公園のお堀から中津川への引っ越しでした。広場下のお堀を出て灌木を潜り、芝生を横断、公園脇の道路を渡って堤防の石垣から川原に降り、川に入るまで・・・20分ほど掛かったでしょうか。先頭を歩く親鳥の後ろを、ヨタヨタしたり脇道に逸れたりしつつ、必死についていくヒナ鳥の可愛らしい行列を見ることができました。

動物の子育ては、人間の子育ての模範だなあ～と思います。小さい時は文字通り「ネコ可愛がり」に舐め回して世話し、少し大きくなって来ると(カモの引越し時ですが)遊びや餌探しを通して徐々に鍛え始めます。そして或る日突然、親は子を追い出し、自立させるのです。

私たちの子育てに欠けがちなのは、最初期の「ネコ可愛がり」と、最終段階の自立に向けた促しではないか・・・と思います。生まれた途端から周りと比べて「ハヤクしなさい」「サッサとやりなさい」・・・自分への自信も、自立に向けた人格としての成長も、疎かになってないでしょうか。YMCAが最も大切にするのは、周りと比較ではなく「あなた自身」の大切さと、自分で(周りと力を合わせ/失敗してもいい)何かを成し遂げる体験の積み重ねです。キャンプもスポーツも、その目的は、こうした体験によって、誰にも支配されない、自立した人格として生きる力が養われることです。「勝つ」ことは、その手段の一つであって、目的ではありません。まして、人格を否定する暴力などあり得ないのです。

ワシが巢を揺り動かし、ヒナの上を飛びかけり・・・翼に乗せて運ぶように、ただ主のみ、その民を導(かれた)。(申命記32章11~12節)